



3月11日、午後2時46分・・・東日本大震災が発生しました。誰しもが想像していなかった巨大な地震、そして真っ黒な津波はたくさんの大切な命と思い出が詰まった家屋を一瞬にして奪い去っていきました。私達にとって、忘れられない1日、そして自然の恐ろしさをあらためて思い知らされた日となりました。復興へと歩みだそうと前を向いている、明日を見ているそんな皆さんと共に私達も今何が出来るのか、どうすればまた皆さんの笑顔を取り戻すことが出来るのか・・・少しでもお力になればと、そう思っています。

今回のひざしは震災後のサポステの現状と対応、そしてサポステ利用者が行なった復興支援などを掲載しました。

1日も早く皆さんの心に暖かい【ひざし】が降り注ぎますように・・・

◆現時点での利用者の方への対応◆

相談業務に関しては、場所を変更して行なっていましたが、5月からはこれまで通りふるさとプラザ内で行ないます。また各支援プログラムにつきましても一部を除き通常通り行ないます。(コミュニケーションセミナーは6月開始予定)

- 相談：事前に要予約
 - こころの相談：月2回（事前に予約）
 - レッツチャレンジ：スポーツについては場所を変更して行ないます。
 - コミュニケーションセミナー：現時点ではお休みですが6月から開始予定。
 - ジョブトレーニング：今現在は被災地のボランティア活動を行っていますが、その他の職場見学、職場体験についてはお問い合わせ下さい。
 - 社会人入門セミナー：通常通り実施
 - 就活セミナー：通常通り実施
- ◆詳しくはお問い合わせ、又はHPで確認して下さい。

◆みやぎ北若者サポートステーションの現状◆

みやぎ北若者サポートステーションが入っているふるさとプラザ（古川駅前）は3月11日の地震で地盤沈下になり、建物周辺がひび割れや段差、アスファルトやコンクリートがはがれてしまい、安全が確保されるまではスタッフ以外は立ち入りできず、利用者や新規の相談の方達は立ち入りが出来ない状況になっていました。その為若者自立支援ネットワークの皆さんに連絡をし、地域の支援で大変な状況にも関わらず相談場所の確保についてご協力頂きました。本当に有り難うございました。

4月12日から皆様に確保して頂いた場所を利用し相談事業を行なっていましたが安全が確認され、一般の立ち入りが可能となりましたので、5月からみやぎ北若者サポートステーション（ふるさとプラザ内）で行なえるようになりました。

そして各支援プログラム、(コミュニケーションセミナーを除く)につきましても通常通りに行なって行きたいと思えます。

この震災で改めて皆さんとの繋がりが大切だと、感じました。みやぎ北若者サポートステーションは地域の皆さんに支えられているのだと・・・今後ともご協力の程、どうぞ宜しくお願い致します。

復興支援活動

みやぎ北若者サポートステーションの利用者が、『何か自分でも出来る事はないですか』、と言ってきてくれました。そして私達サポステスタッフと共に、復興支援の為に石巻市に入りました。デイサービス『はまかぜ』に支援物資を届け、食料品と日用品、衣類のサイズ分け等を行い石巻市から女川、そして自衛隊等に運びました。利用者の方から何か手伝いたいという申し出に、スタッフも心強くそして頼もしく思いました。このボランティア活動により何かを感じ取ってくれたようです



デイサービス『はまかぜ』のスタッフや利用者さんのお宅も津波の被害に見舞われました。現地入りしたサポステ利用者と私達スタッフがその現場の復旧に訪れた際に目の前に広がった景色は、かつてあったと思われる住宅街の面影はありませんでした。その地域は地震発生から20分ほどで津波が押し寄せ、あっという間に一階の天井まで水がきて介護スタッフの家族は二階に非難し、水が引くまで3日間二階で孤立。その場所のヘドロのかきだし、片付けなども利用者さんで行ないました。家の前はまだ海水が引きません。



近所の空き地でボランティア団体が炊き出しを実施。電気、ガス、水道が未だにきていない状況の為（4月18日現在）温かい食べ物は『本当に有難い』と言って笑顔で皆さん食べていました。

